



30. 11. 19
陸幕広報室

国内における米海兵隊との実動訓練（フォレストライト01）の概要について

陸上自衛隊は、下記のとおり国内における米海兵隊との実動訓練（フォレストライト01）を実施しますので、お知らせいたします。

1 目的

陸上自衛隊及び米海兵隊の部隊が、それぞれの指揮系統に従い、共同して作戦を実施する場合における相互連携要領を実行動（指揮機関訓練を含む。）により訓練し、連携強化及び共同対処能力の向上を図る。

2 期間

平成30年12月7日（金）～12月19日（水）

3 場所

日出生台演習場、十文字原演習場及び航空自衛隊築城基地

4 担任官

(1) 陸上自衛隊

第4師団長 陸将 おきむら 沖邑 よしひこ 佳彦

(2) 米海兵隊

第3海兵師団長 准将 ウィリアム M ジャーニー (William M. Journey)

5 訓練実施部隊

(1) 陸上自衛隊

ア 部隊

第4師団第41普通科連隊基幹等（約750名）

イ 装備品

89式5.56mm小銃、5.56mm機関銃MINIMI、120mm迫撃砲、01式軽対戦車誘導弾、87式対戦車誘導弾、M24対人狙撃銃、10式戦車、航空機（UH-1、CH-47、AH-1S）等

(2) 米海兵隊

ア 部隊

第4海兵連隊第2-23大隊基幹等（約250名）

イ 装備品

5.56mm小銃、7.62mm中機関銃、7.62mm狙撃銃、60mm迫撃砲、対戦車ロケット砲、航空機（MV-22）等

6 備 考

本訓練は、平成28年9月1日付の日米合同委員会合意に基づき、沖縄県外での訓練の一層の推進を図り、訓練活動に伴う沖縄の負担を軽減するため、現在、普天間飛行場に所在するMV-22オスプレイ等の訓練移転を組み込んで実施します。

(問い合わせ先)

陸上幕僚監部広報室 安達、西村 (担当)

(03-3268-3111 内線40084)